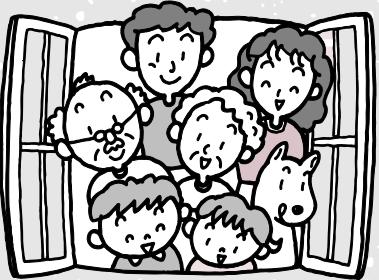


市民のひろば



お便りには必ず住所、氏名、年齢、学校・学年、電話番号を記入してください。ファックス32-2152、インターネット目安箱 meyasu@city.tsuyama.okayama.jpでの応募も受け付けています。

先日、山口県の実家に行つてきました。実家は年寄り夫婦だけなので、不用品がたくさんあります。そこで、津山のリュースプラザ「くるくる」のことを村役場に勤務している義弟に話すと、即座に「そんなことはとてもできない」と言つていました。

津山は、いろいろとエコ・システムに力を入れてくださり、本当に「ありがたい。すごい」と思っています。廃油を集め、ごんごバスの燃料にする運動も、とてもよいことで大賛成です。私も環境への取り組みをがんばりたいと思います。(志戸部・女性)

リュースプラザ津山「くるくる」は、まだ使えるものをこみにすることなく、活用することごみを減らし、資源を大切にしようという考え方から設立されました。

環境への取り組みに感謝

わ
た
し
も
ひ
と
こ
と

そして、これは行政だけではなく市民のみなさんとの取り組みの中で生まれたものです。

ごみ減量の取り組みについて、先進的といわれる津山ですが、市民のみなさんとの協働で進めていることが特徴です。

現在「くるくる」は、市

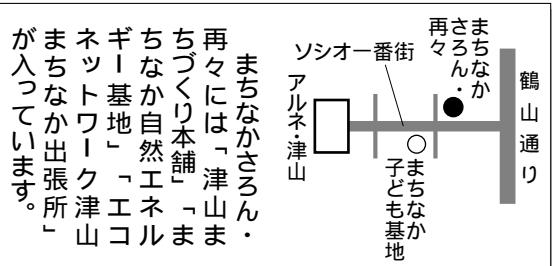
民団体・エコネットワークリ津山が市の委託を受け運営しています。また食廢油は、10月にソシオ一番街にオーブンした「まちなかさるん・

わが家では「ごみ分別辞典」がとても役に立っています。分別方法が細かく載っていて、また本当の辞典のように50音順で調べられるので、とても使いやすく、発行を決めた行政担当者に「ナイス・アイデア!」と感心しています。ごみ箱の近くに置いて、すぐ見えるようにしていますが、みなさんの家はどうですか?(野介代・女性)

市環境事業課



み分別辞典
いが役立つ
ります



(小学2年・紫保井)
奥沙保里



みんなの
絵



番原一恵(小学6年・西寺町)

(6歳・紫保井)
奥あかり



こうこうせい いろ しきくろ
高校生まで 色は白黒。サインペンなどでかく
えれば
(鉛筆・ボールペンはダメ) テーマは自由
きょうぶん まねんひら さ あ
採用分には記念品を差し上げます
あもて じゅうよ なまく がくねん ねんねい か
はがきの表に住所・名前・学年(年齢)を書く
ペンネームもOKです 敬称略



エコネットワーク津山

事務局長 松田 信也さん(野村)

昨年、市の環境基本計画ができたことを機に、「環境を大切にしたまち津山」を市民の力でつくりようと、エコネットワーク津山は誕生しました。

川や森での体験学習、ごんごバスツアー、野草観察会、環境に優しい買い物ガイドの作成、環境教育や工芸建築の研究会、リユースプラザ津山「くるくる」の運営など幅広い活動を行なっています。誰もが参加・参画できる、開かれた会です。

また、行政や事業者、市民団体などと協働で活動する「環境パートナーシップ組織」としての顔も持っています。協働で取り組むことで、それぞれがばらばらに取り組んでいては得られない相乗効果を生んでいきたいですね。

幅広い活動を支える人材が不足しているという現実もありますが、「環境といえばエコネットワーク津山」とみんなに頼りにされる団体になることをめざしています。



新春市民川柳大会

選者 安東 千世子さん(川崎)

「川柳界の年明けは、津山の川柳大会から」。このようにいわれてきたこの大会も、今回で25回目を迎えました。毎年、市内外から約150人の川柳愛好家が集まっています。

川柳の魅力は、まず口語體で自分の思想や情感が表現できること。そして17文字に表現する言葉探しをしていく過程の苦しみ、そしてそれを見つけたときの喜びにあるでしょう。

大会はあらかじめ選者と兼題が発表されており、2句ずつ投句します。1句でも投句できますので、興味のある方は気軽に参加してください。会場で多くの人の作品を聞くだけでも十分川柳の魅力を感じていただけると思いますよ。今回、選者を務めさせていただきますが、新しい方の参加も楽しみにしています。

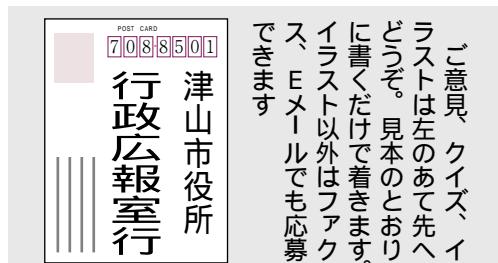
第25回新春市民川柳大会は、1月16日(日)津山市総合福祉会館で開催します。(16ページに関連記事あり)

私の おすすめ

「学校に近くて、もみまきから田植え、稻刈りまでの農業体験学習に協力してくださる家はないだろうか。そればかりの子どもたちにまだ2年生になつたことは、平成2年のことでした。思えばまるで昨日のような気もしますが、あれから、もう15年の歳月が流れようとしています。

生も田植えと稻刈りに参加するようになります。今年は、老人クラブから6人が協力してくれり、9月13日、無事に稻刈りも終わりました。私たち老夫婦のさすが、いつの日か子どもたちが大人になつたときに、この農業体験が役に立ちますように、花開いてくれますようにと願っています。(下)

小学生の農業体験は、各地域のみんなの協力により行われています



ご意見、クイズ、イラストは左のあて先へどうぞ。見本のとおりに書くだけで書きれます。イラスト以外はファックス、Eメールでも応募できます。

広報 クイズ

問 津山地域は
域です。何の加工業でしょう？

応募方法 答えのほかに必ず、日ごろ感じていること、記事の感想、市政に対する要望など、何でも書き添えてください(広報紙やホームページなどに匿名で紹介させていただきます)。正解者の中から抽選で5人に図書券を贈ります。

締め切り 1月7日(金)当日消印有効

発表 広報つやま2月号

10月号当選者 応募13人、正解13人

河野 喜美子さん、原 美代子さん、日笠 ちとせさん、森 亜由美さん、山田 佳子さん

10月号の正解 昭和30年1月

農

業体験が
よう結びます実